

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-03-06
事務事業名	水産業振興施設管理運営事業		
		根拠法令・要綱等	備前市多目的集会施設設置条例及び同施行規則
事業開始年度	平成17年度～		
大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先	日生総合支所 管理課
中項目 基本施策	豊かな食を支えるまちづくり	職・氏名	課長補佐・濱山 一泰
小項目 施策	水産業	電話	0869-72-1259

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	都市住民等
目的 (何のために)	漁業従事者と都市住民等との交流の場の提供
行政活動 (どのような方法で)	備前市多目的集会施設(日生うおじま会館・頭島かた舟会館)の管理運営
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	交流の促進

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
稼働日数及び参加人数				
日生うおじま会館	日	62	70	77
頭島かた舟会館	日	115	134	118
日生うおじま会館	人	2,835	3,130	3,188
頭島かた舟会館	人	3,549	4,381	3,745
活動実績				
事業費	千円			
直接事業費				
人件費		415	132	224
事業費計		415	132	224
財源	千円			
国県支出金				
受益者負担				
市一般財源		415	132	224
必要人員	人	0.05	0.02	0.03
結果指標				
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
稼働日数	説明			
結果指標量	日	177	204	195
対前年比	%	-	115.3%	95.6%
活動コスト	円	415,000	132,000	224,000
単位当たりコスト	円	2,344	647	1,148
結果指標	説明			
参加人数				
結果指標量	人	6,384	7,511	6,933
対前年比	%	-	117.7%	92.3%
活動コスト	円	415,000	132,000	224,000
単位当たりコスト	円	65	17	32

事業の成果			
成果指標名	式又は説明	稼働日数	
備前市多目的集会施設(日生うおじま会館・頭島かた舟会館)の稼働日数			
		17年度	18年度
成果指標量		177	204
対前年比			115.25%
		19年度	
到達目標値		230日	毎年

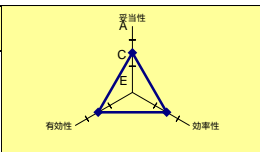
事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	日生うおじま会館・頭島かた舟会館ともに、交流の場として活用されており妥当である。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	日生うおじま会館は日生町漁業協同組合本所事務所、また、頭島かた舟会館は当組合頭島支所事務所と併設しているため、施設の維持管理費利用及び漁協費で賄っているため、市費からの支出はない。	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
職	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	課題認識	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	「日生の漁業の歴史」を学んだり、「漁業体験」ができる施設となるよう、関係施設等とタイアップを図りながら有効に活用する。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		

平成20年度の状況		説明	引き続き、日生町漁業協同組合が指定管理者となっている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 200	結果指標量	7,500
成果指標量	200		

総合評価		評価区分 <A~E>	C
魅力と活力ある漁村環境づくりの研修等の場として活用されており、今後も都市と漁村との交流を深め、漁業の歴史や漁業体験等を通して、水産業の重要性や役割について理解を深めてもらう。			
			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果